

## 7月14日：低い流動性の中で続落

ホーチミン取引所のVN指数は0.07%安の868.11ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日にも0.29%下落し868.72ポイントで取引を終えていた。

流動性は低水準で出来高は2億3900万株、売買代金にして4兆ドンほどであった。

178銘柄の下落に対して181銘柄が上昇した。

VN30指数は0.1%安の805.37ポイントで取引を終えた。

セクターごとにまちまちの動きとなった。

不動産、IT、石油ガス、農業、建設は下落した。

一方、卸売り、保険、証券、銀行、飲食料品、ゴム、水産加工、運輸は上昇した。

バオベトホールディングス (BVH)、SSI証券 (SSI)、ベティンバンク (CTG)、ペトロベトナムガス (GAS)、ホアファットグループ (HPG)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ビンホームズ (VHM)、ベトコムバンク (VCB)、ビナムミルク (VNM)などは上昇した。

一方、軍隊銀行 (MBB)、マッサングループ (MSN)、ノバランド不動産 (NVL)、サイゴンビール (SAB)、VPバンク (VPB)、ビンコムリテール (VRE)、テクコムバンク (TCB)は下落した。

Thanh Cong証券によると、市場心理は第二四半期決算によるところが大きいとのことだった。

VN指数は875-885ポイントに近づいたときには乱高下が予想されると同社は語った。

投資家は株への投資比率を30-50%にするべきで、好決算が期待できる銘柄に注目するべきであると語った。

ハノイ取引所のHNX指数は0.42%安の116.14ポイントで取引を終えた。

同指数は0.01%安の115.65ポイントで取引を終えた。

出来高は 3600 万株で売買代金にして 3680 億ドンであった。

外国人投資家はホーチミンで 731 億ドンの売り越し、ハノイでは 20 億ドンの売り越しだった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。